

第3次岡山県歯科保健推進計画の 推進状況について

令和6年度岡山県歯科保健対策協議会資料

令和7年1月16日

1

目次

1. ライフステージ別の歯科保健
 - ①妊産婦期の歯科保健
 - ②乳幼児期の歯科保健
 - ③学齢期（小学校～高等学校）の歯科保健
 - ④成人期の歯科保健（～60歳代）
 - ⑤高齢期の歯科保健（70歳代～）
2. 分野別の歯科保健
 - ①虐待予防と歯科保健
 - ②障害のある子ども（人）の歯科保健
 - ③職域における歯科保健
 - ④要介護者等の歯科保健

2

①妊産婦期の歯科保健

3

第3次岡山県歯科保健推進計画の目標値 (妊産婦期)

指標	策定時 R3 (2021)	現状値 R5 (2023)	目標値 R17 (2035)
妊産婦の歯科健（検）診受診率	31.6%	31.5% ※	増加
妊産婦歯科保健指導を受けた率	17.5%	18.3% ※	増加
妊産婦歯科保健指導を実施している市町村数	18市町村	19市町村※※	全市町村

※厚生労働省 地域保健・健康増進事業報告（令和4年度）

※※岡山県市町村歯科保健対策事業実施状況調査（令和5年度）

現 状 等

- ◆妊産婦歯科保健指導は19市町村で実施（前年から1増）
- ◆妊産婦歯科健診は21市町村で実施（前年から1増）

4

②乳幼児期の歯科保健

5

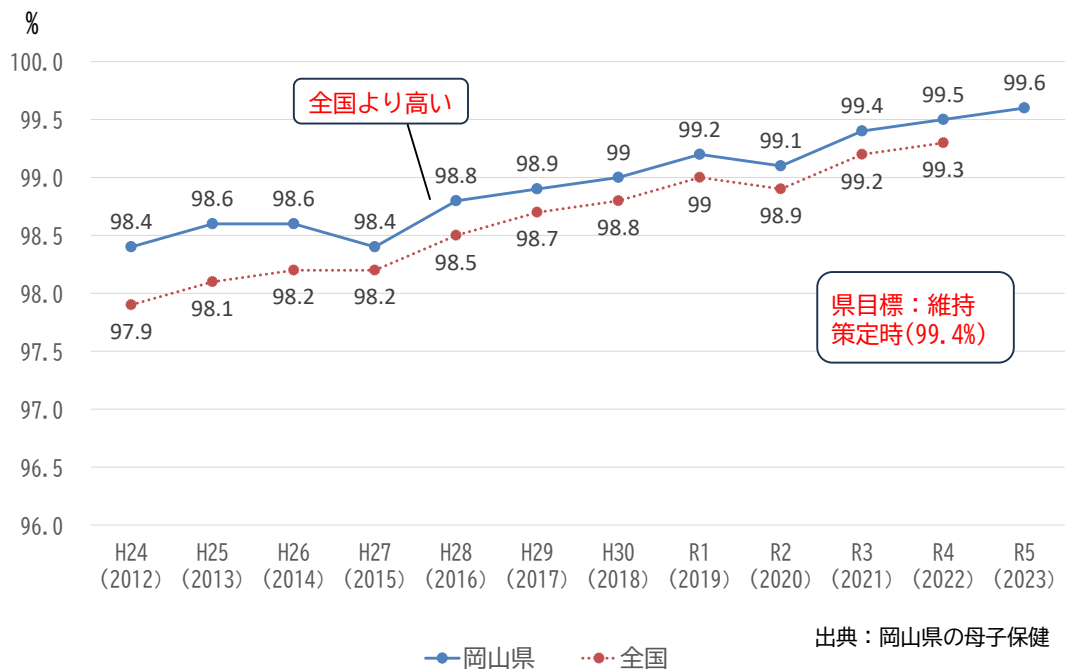
第3次岡山県歯科保健推進計画の主な目標値
(乳幼児期)

指標		策定時 R3(2021)	現状値※ R5(2023)	目標値 R17(2035)
むし歯のない児の割合	1歳6か月児	99.4%	99.6%	維持
	3歳児	88.1%	90.5%	95.0%以上
フッ化物歯面塗布経験児の割合（3歳児）		70.1%	72.9%	75.0%以上
間食回数が2回/日以内の児の割合（3歳児）		82.5%	81.2%	90.0%以上
保護者が子どもの仕上げ磨きをしている児の割合（3歳児）		97.3%	97.9%	増加
法定健診以外に歯科保健指導を実施している市町村数		24市町村	25市町村**	全市町村

※岡山県の母子保健
**岡山県市町村歯科保健対策事業実施状況調査（令和5年度）

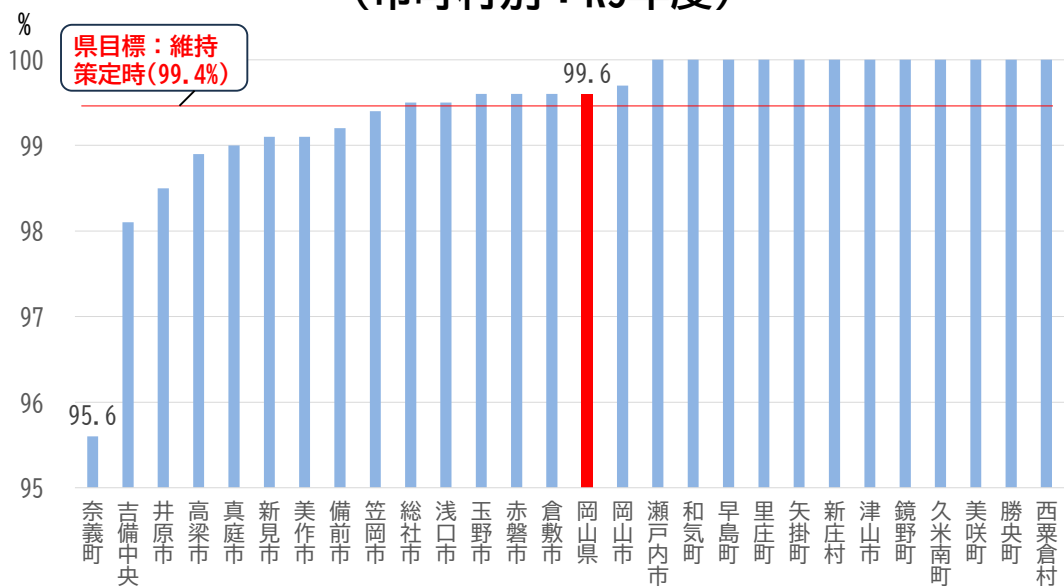
6

1歳6か月児のむし歯のない者の割合の推移



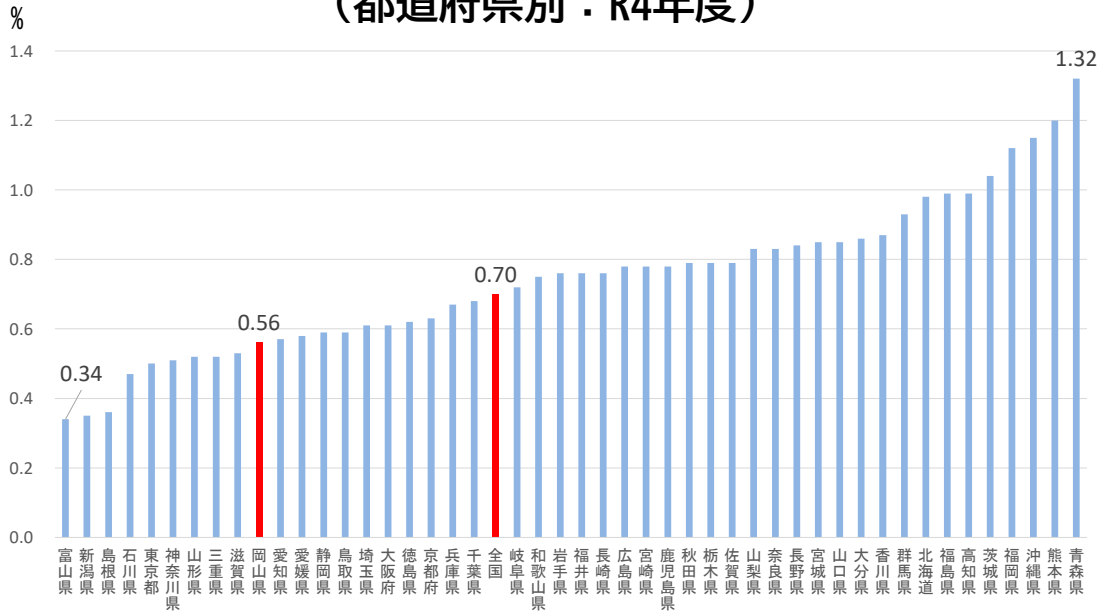
7

1歳6か月児のむし歯のない者の割合 (市町村別：R5年度)



8

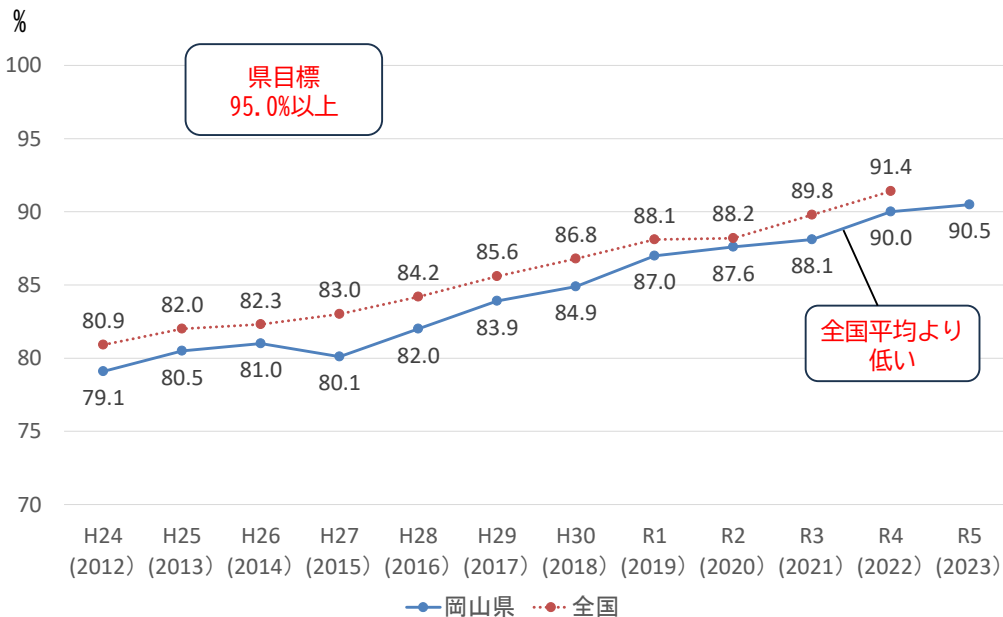
1歳6か月児のむし歯有病率 (都道府県別：R4年度)



出典：厚生労働省 地域保健・健康増進事業報告（令和4年度）より作成

9

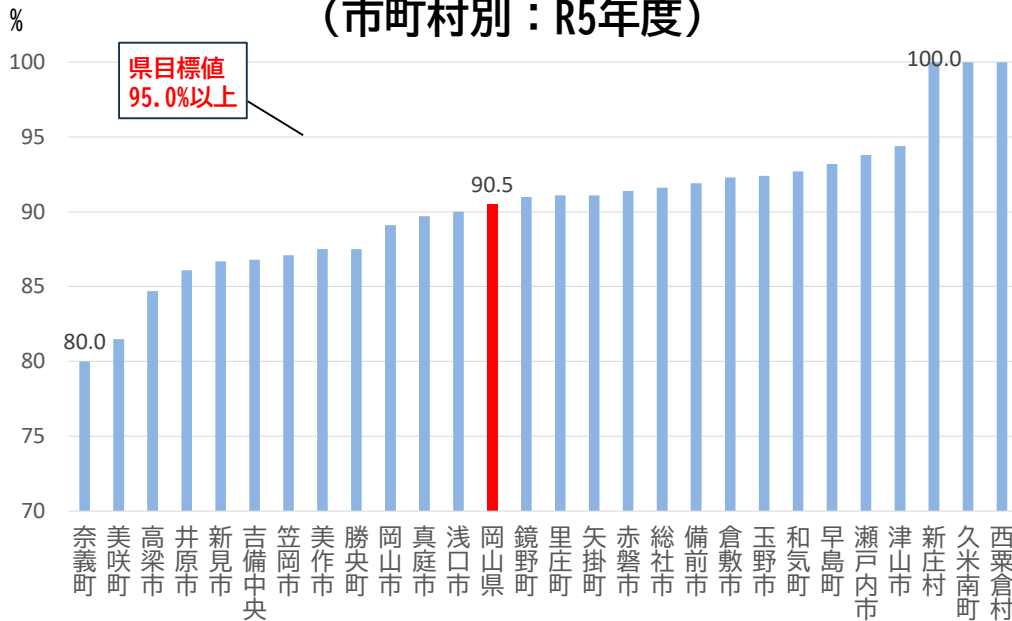
3歳児のむし歯のない者の割合の推移



出典：岡山県の母子保健

10

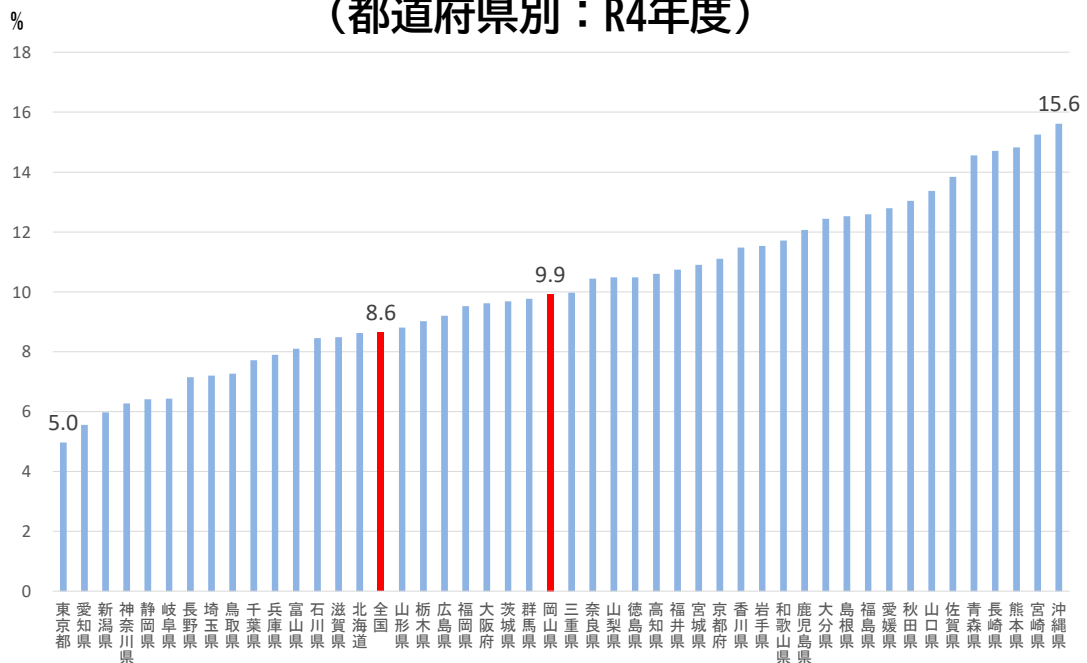
3歳児のむし歯のない者の割合 (市町村別：R5年度)



出典：岡山県の母子保健

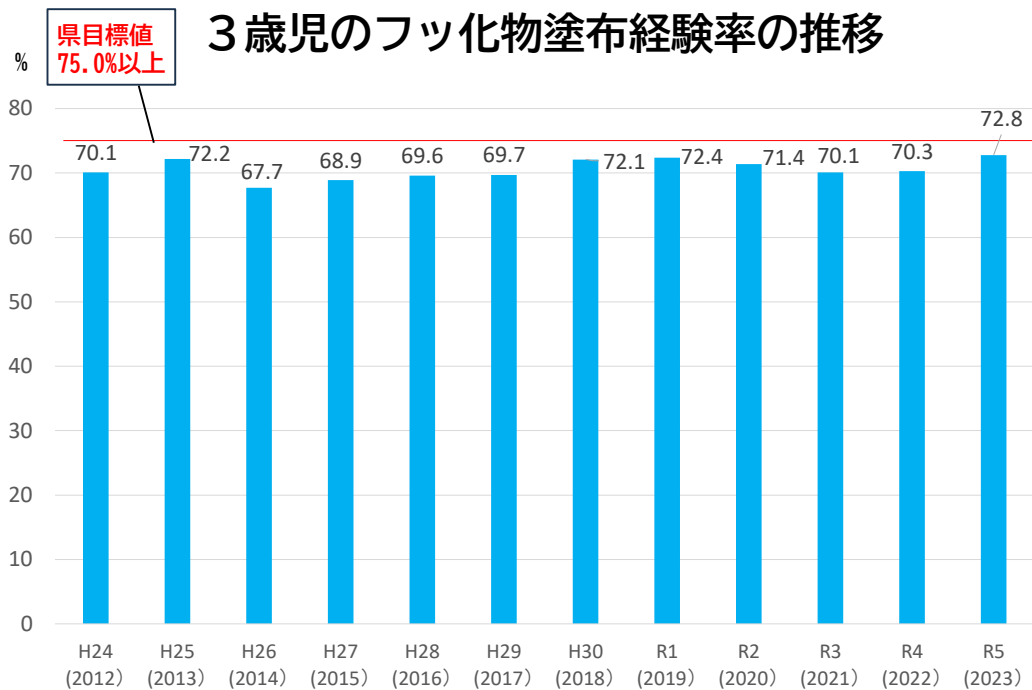
11

3歳児のむし歯有病率 (都道府県別：R4年度)



出典：地域保健・健康増進事業報告（令和4年度）より作成

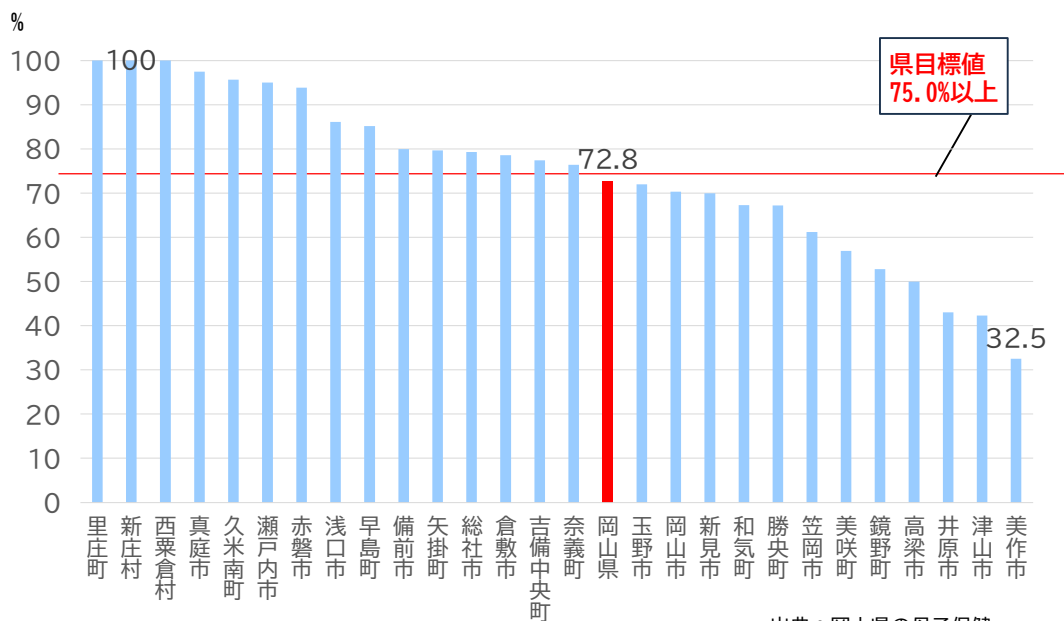
12



出典：岡山県の母子保健

13

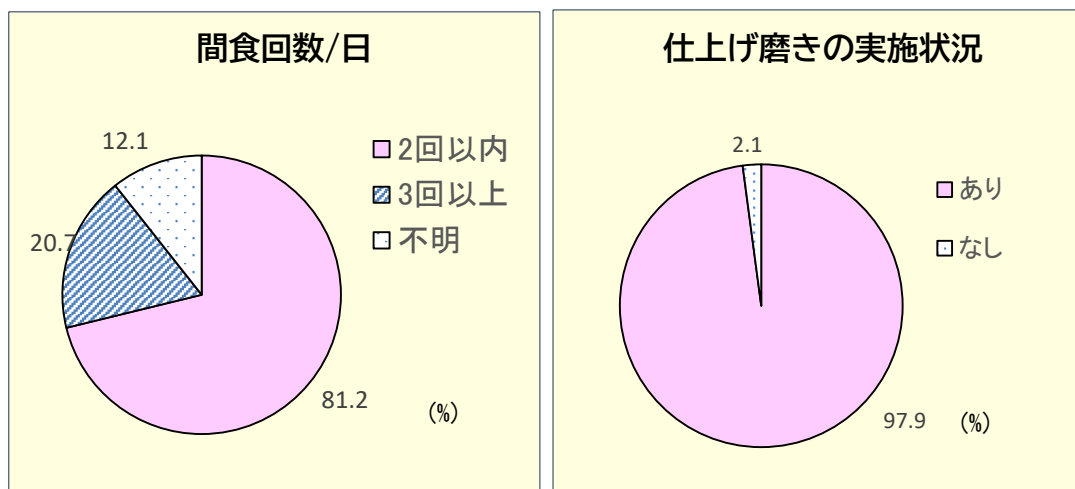
3歳児のフッ化物塗布経験率（市町村別：R5年度）



出典：岡山県の母子保健

14

3歳児の生活状況（R5年度）



出典：岡山県の母子保健

第3次歯科保健推進計画目標値（R17年度）：

- ・間食回数が2回/日以内の割合（3歳児） 90%以上
- ・保護者が仕上げ磨きをしている児の割合（3歳児） 策定時97.3%から増加

15

現 状 等

- ◆むし歯のない者の割合は増加傾向
- ◆むし歯有病率は、1歳6ヶ月児では全国平均を下回っているが、3歳児では上回っており、市町村間で約20%の差が見られる。
- ◆法定健診以外の歯科保健指導は25市町村で実施
- ◆フッ化物歯面塗布は19市町村で実施（前年度から5増）
- ◆フッ化物洗口は6市町村で実施（学齢期を含む）

岡山市、倉敷市、玉野市、新見市、津山市、新庄村

16

③学齡期（小学校～高等学校）の歯科保健

17

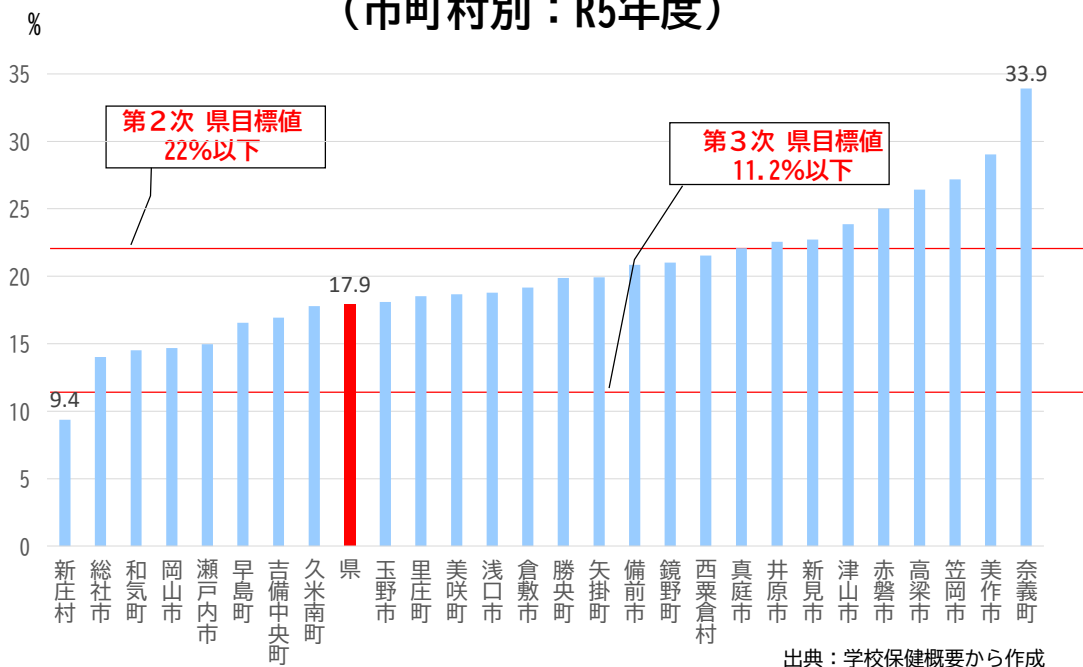
第3次岡山県歯科保健推進計画の主な目標値
(学齡期)

指標		策定時 R3(2021)	現状値 R5(2023)※	目標値 R17(2035)
むし歯のない児の割合	12歳児	74.0%	73.4% ※※	95.0%
未処置歯保有者率	小学生	19.8%	17.9%	11.2%以下
	中学生	12.9%	12.1%	7.0%以下
一人平均むし歯数 (DMFT)	12歳(中1)	0.61本	0.49本	0.30本以下
	15歳(高1)	1.05本	0.97本	0.60本以下
むし歯治療率	小学生	55.4%	55.1%	70.0%以上
	中学生	34.1%	38.0%	50.0%以上
歯肉に炎症所見を有する者の割合	小学生	15.3%	14.2%	14.6%以下
	中学生	21.6%	20.7%	19.0%以下
	高校生	21.6%	20.1%	19.0%以下

※令和5年度岡山県学校保健概要
※※文部科学省学校保健統計調査(令和5年度)

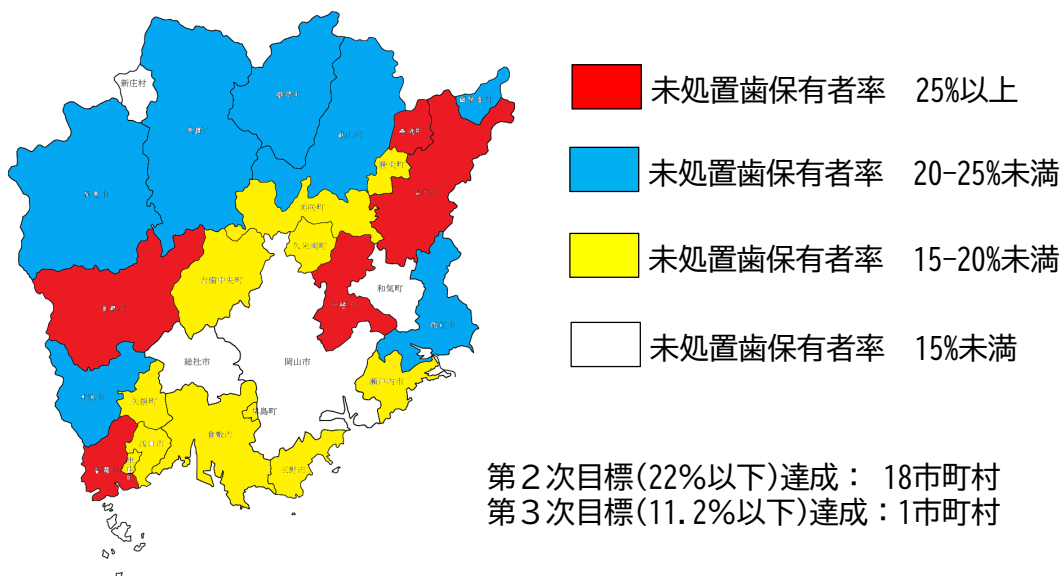
18

小学生（公立）の未処置歯保有者率 （市町村別：R5年度）



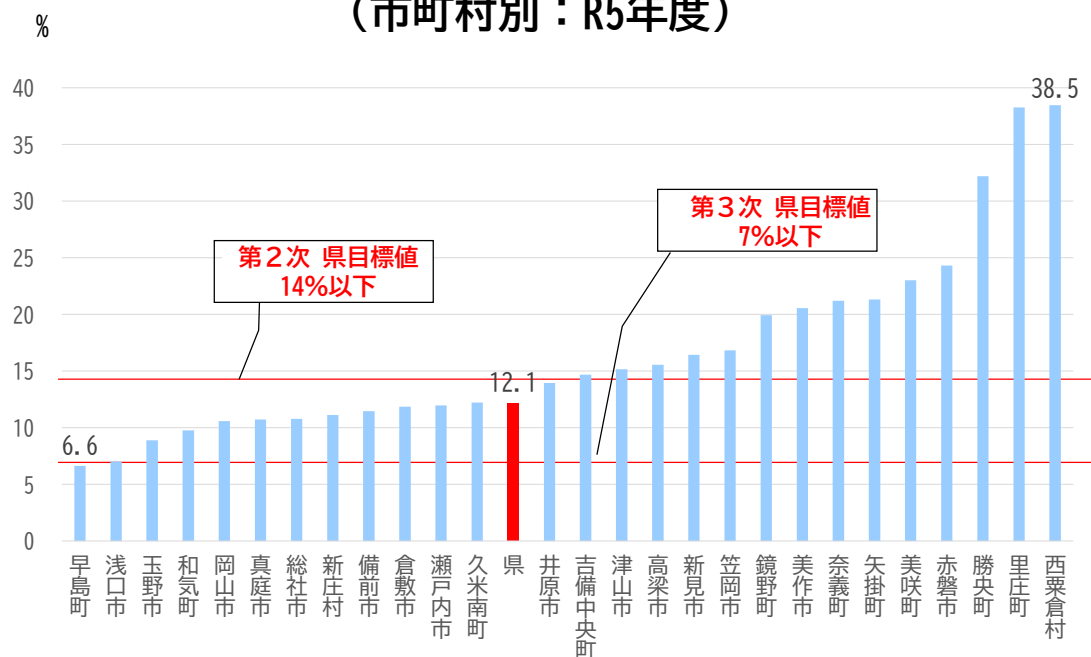
19

小学生の未処置歯保有者率（市町村別：R5年度）



20

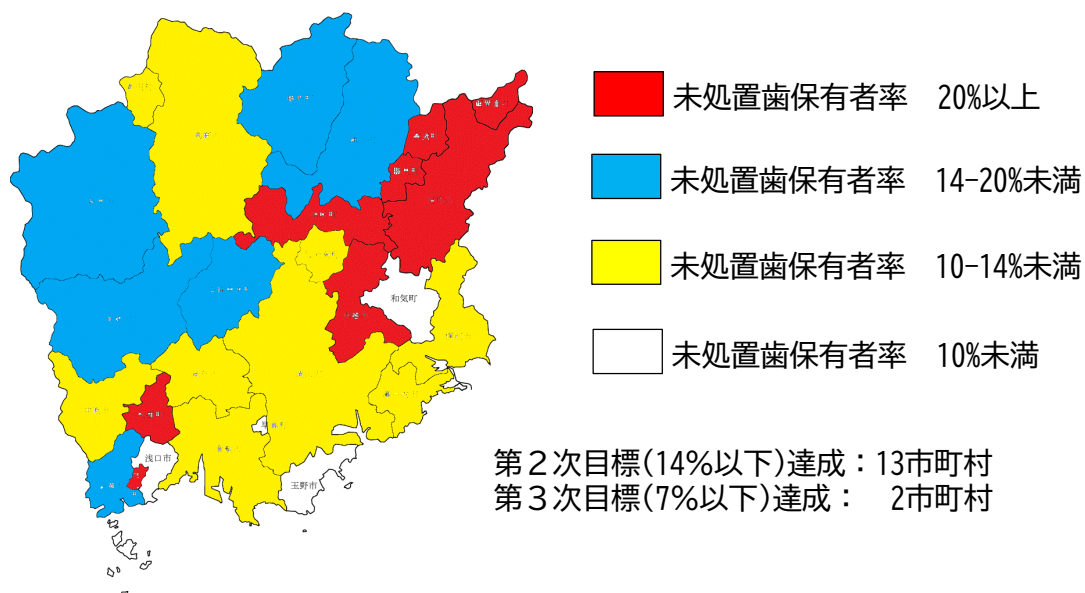
中学生（公立）の未処置歯保有者率 （市町村別：R5年度）



出典：学校保健概要から作成

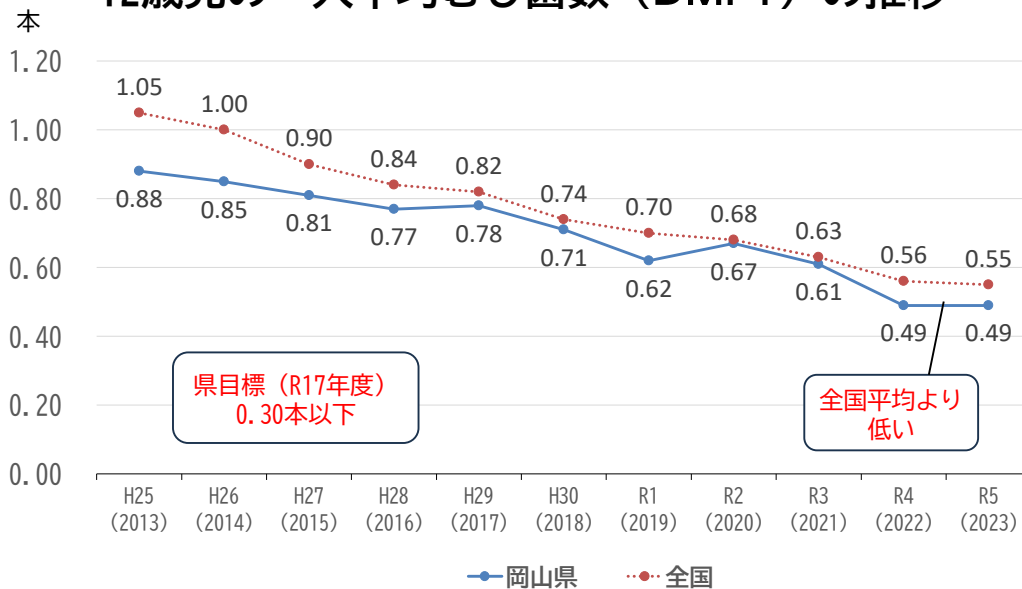
21

中学生の未処置歯保有者率（市町村別：R5年度）



22

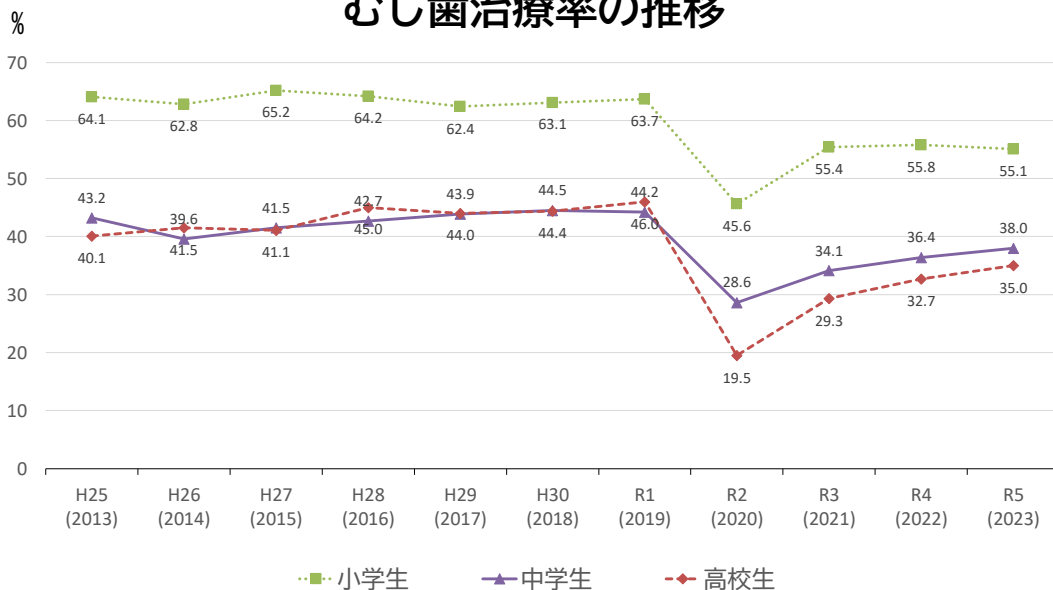
12歳児の一人平均むし歯数（DMFT）の推移



出典：
岡山県：令和5年度岡山県学校保健概要
全 国：文部科学省令和5年度学校保健統計調査

23

むし歯治療率の推移

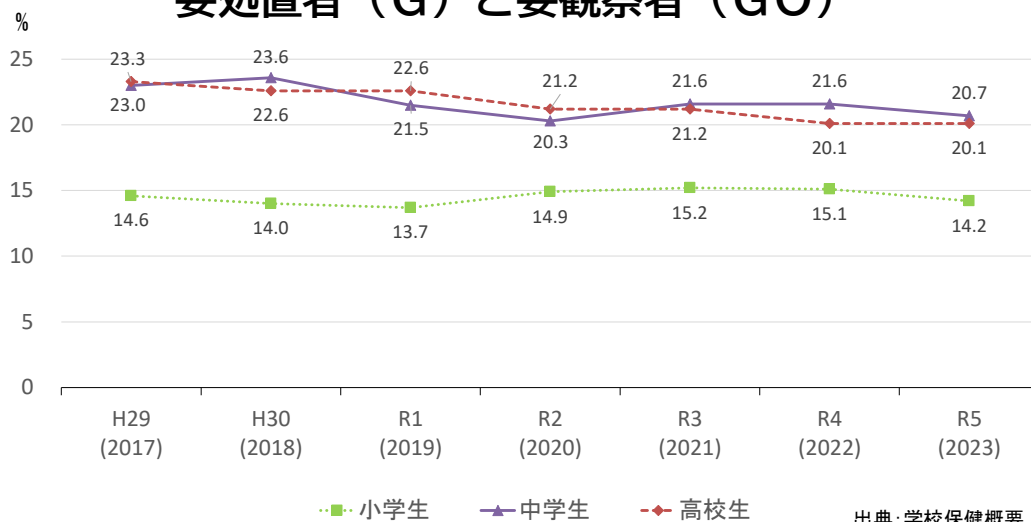


第3次岡山県歯科保健推進計画の目標値（R17年度）
小学生：70%以上、中学生：50%以上

出典：学校保健概要

24

歯肉に炎症所見を有する者の割合の推移 要処置者（G）と要観察者（GO）



第3次岡山県歯科保健推進計画の目標値（R17年度）

小学生：14.6%以下、中学生：19%以下、高校生：19%以下

参考：国目標(R17年度)

10代における歯肉に炎症所見を有する者の割合：10%以下

25

現 状 等

- ◆小学生、中学生の未処置歯保有者率、12歳児の一人平均むし歯数は減少傾向である。
- ◆未処置歯保有者率には地域差がある。
- ◆令和2年度に大きく悪化したむし歯治療率は、回復しつつあるが、令和元年度以前の水準には戻っていない。
- ◆歯肉に炎症所見を有する者の割合は、ほぼ横ばいで、小学生で約15%、中、高校性では約2割のものが、問題を抱えている。

26

④成人期の歯科保健（～60歳代）

27

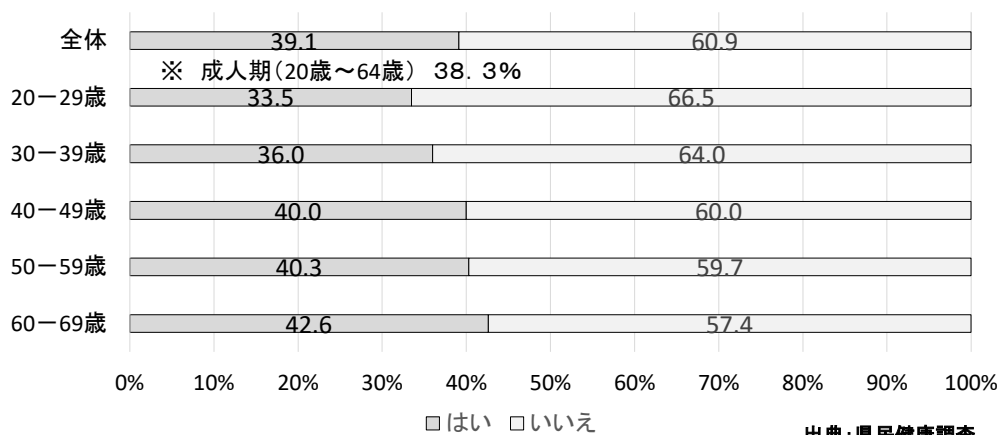
第3次岡山県歯科保健推進計画の主な目標値 （成人期）

指標	直近で把握している値	目標値 R17(2035)
定期的な歯科健（検）診を受けている者の割合	38.3% ※	50.0%以上
専門的な歯磨き指導を受けたことのある者の割合	59.0% ※※	増加
フッ化物配合歯磨剤を使用している者の割合	68.2% ※※	82.0%以上
歯周病と糖尿病の関係を知っている者の割合	47.3% ※※	70.0%以上
60歳で自分の歯を24本以上持っている者の割合（6024割合）	74.6% ※	95.0%以上
60歳代における咀嚼良好者の割合	89.3% ※	95.0%以上
成人歯科健（検）診を実施する市町村数	21市町村※※※	全市町村

※県民健康調査（令和3年）
 ※※令和4年度岡山県歯科保健実態調査
 ※※※令和5年度市町村歯科保健対策事業実施状況調査

28

定期的に歯科健診を受診している者の割合 (令和3年)



出典：県民健康調査

第3次岡山県歯科保健推進計画の目標値（R17年度）：50%以上

参考：

国目標(R17年度)：過去1年間に歯科検診を受診した者の割合：95%

29

現 状 等

- ◆定期的に歯科健診を受診している者の割合は、20代が最も低い。
- ◆成人歯科健診（歯周病検診等）は21市町村で実施
- ◆歯周病検診の受診率は、1.19%

30

⑤高齢期の歯科保健（70歳代～）

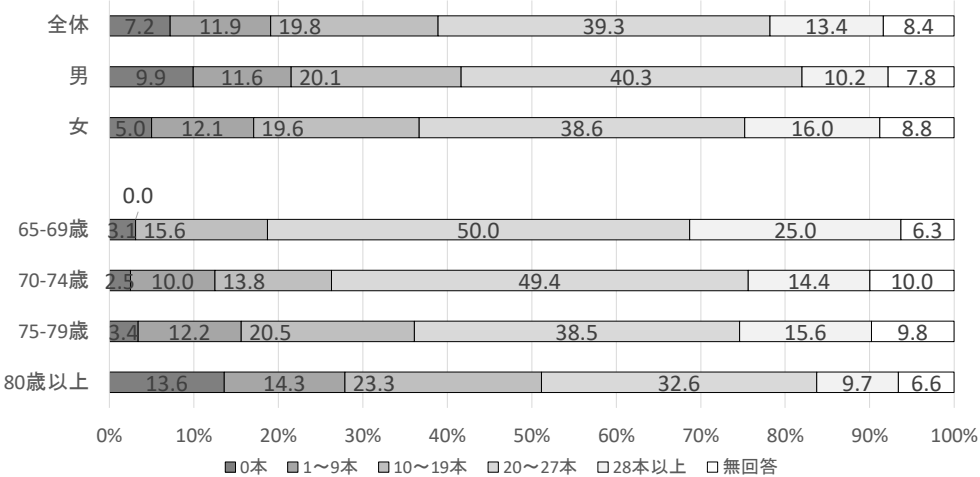
第3次岡山県歯科保健推進計画の目標値

指標	直近で把握している値※	目標値 (R17)
80歳で自分の歯を20本以上持っている者の割合 (75～84歳)	53.3%	85.0%以上
定期的に歯科健（検）診を受けている者の割合 (65歳以上)	59.9%	70.0%以上
健口体操を知っている者の割合（65歳以上）	54.0%	70.0%以上

※令和4年度岡山県歯科保健実態調査

31

世代別一人平均残存歯数（令和4年度）

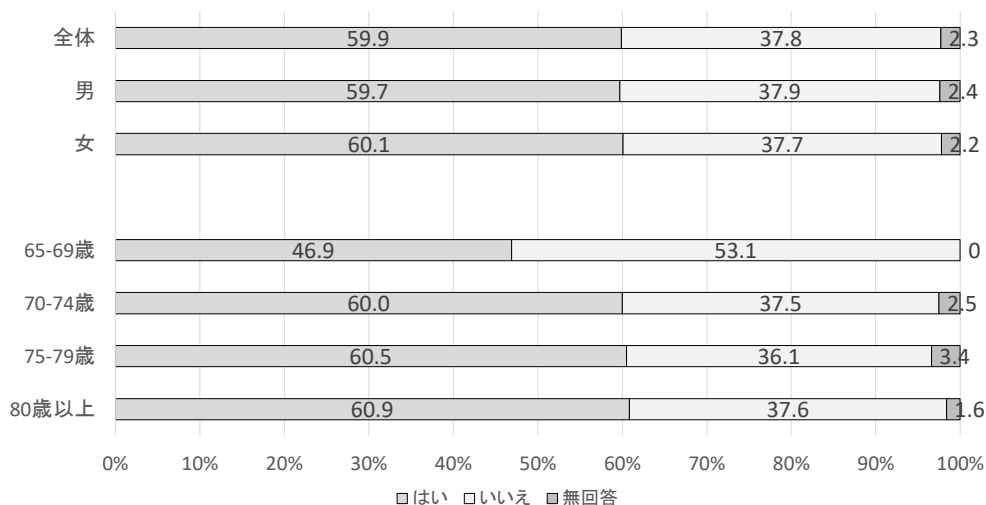


出典：岡山県歯科保健実態調査

80歳（75～84歳）で20本以上の自分の歯を有する者の割合：
策定時53.3% → 目標値85.0%以上（R17年度）

32

定期的に歯科健診を受けている者の割合 (令和4年度)



出典：岡山県歯科保健実態調査

33

現 状 等

- ◆後期高齢者歯科健診は11市町村で実施（前年度から1増）

<実施市町村>

岡山市、玉野市、瀬戸内市、吉備中央町、和気町、
総社市、早島町、笠岡市、井原市、新庄村、鏡野町

- ◆介護予防事業での「口腔機能の向上」は18市町村で実施

<実施市町村>

倉敷市、瀬戸内市、備前市、赤磐市、和気町、早島町、
笠岡市、井原市、浅口市、里庄町、高梁市、新見市、
真庭市、津山市、久米南町、美咲町、美作市、西粟倉村

34

分野別の歯科保健

- ①虐待予防と歯科保健
- ②障害のある子ども（人）の歯科保健
- ③職域における歯科保健
- ④要介護者等の歯科保健

35

①虐待予防と歯科保健

指標	策定時 R3（2021）	現状値 R5（2023）	目標値 R17（2035）
10本以上むし歯を持つ児の割合（3歳児）	0.62%	0.45%	減少

※岡山県の母子保健

現 状 等

◆ 3歳児で10本以上むし歯を持つ児の割合は減少している。

参考：
国目標（R17年度）：3歳児で4本以上むし歯を持つ者の割合：0%

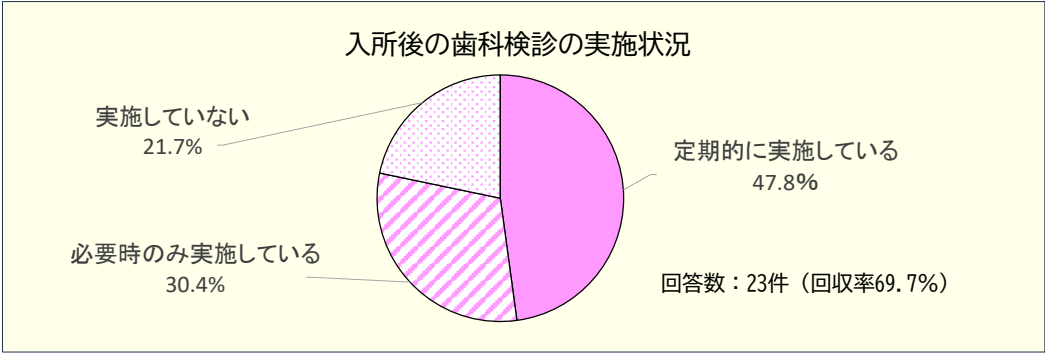
36

②障害のある子ども（人）の歯科保健

第3次岡山県歯科保健推進計画の目標値

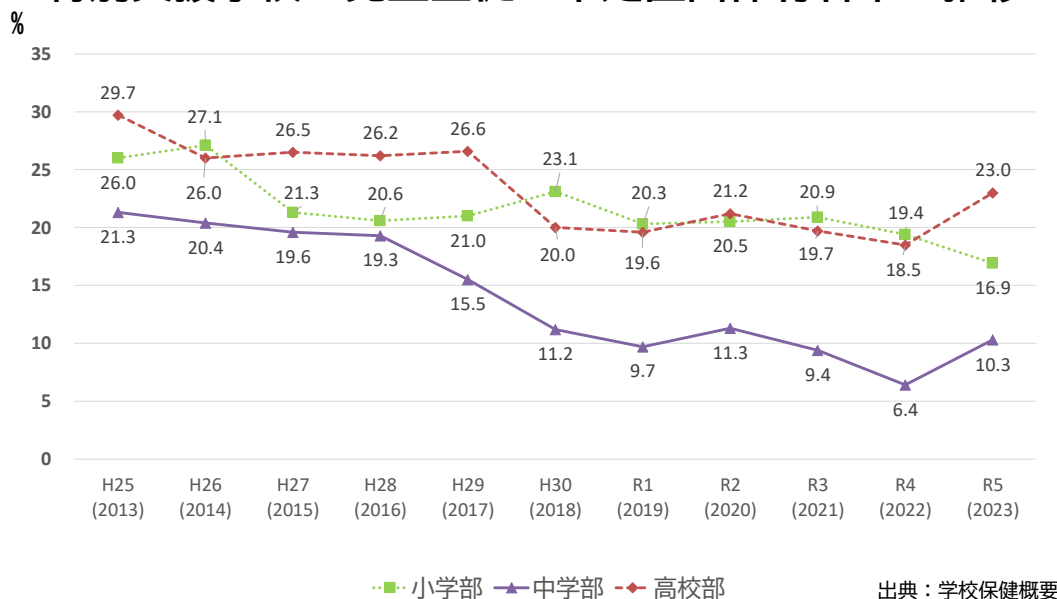
指標	直近で把握している値※	目標値(R17)
障害のある子ども（人）を診ることのできる歯科診療所の割合	8.6%※	増加
障害児（者）入所施設の定期的な歯科健（検）診実施率	47.8%※※	増加

※医療推進課 ※※令和4年度岡山県歯科保健実態調査



参考：国目標(R17年度) 障害者支援施設及び障害者入所施設で過去1年間の歯科検診実施率：90%以上

特別支援学校の児童生徒の未処置歯保有者率の推移

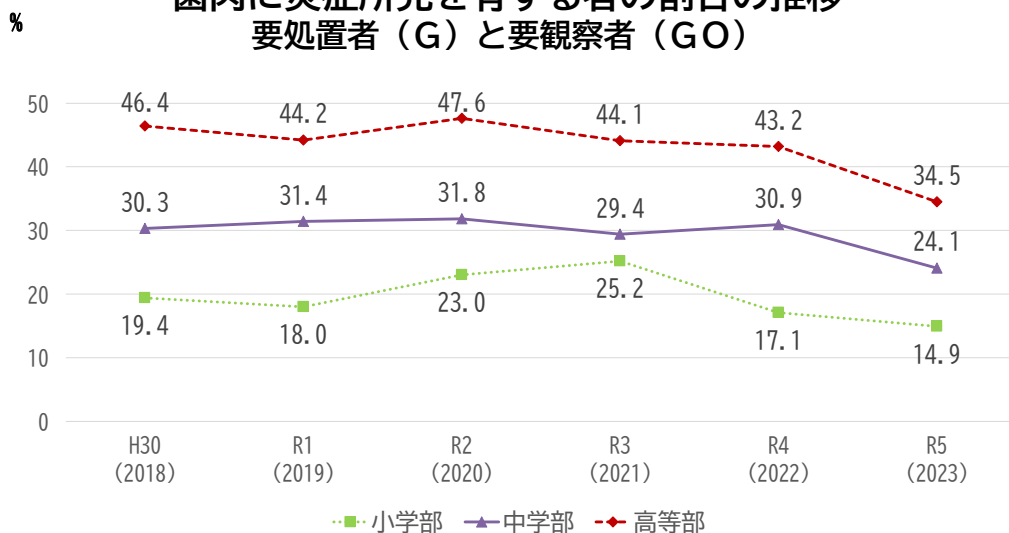


第3次岡山県歯科保健推進計画の目標値 (R17年度)

未処置歯保有者率 小学生：11.2%以下 中学生：7.0%以下

39

特別支援学校の児童生徒の 歯肉に炎症所見を有する者の割合の推移 要処置者 (G) と要観察者 (GO)



第3次岡山県歯科保健推進計画の目標値 (R17年度)

小学生：14.6%以下、中学生：19%以下、高校生：19%以下

参考：国目標(R17年度)

10代における歯肉に炎症所見を有する者の割合：10%以下

40

現 状 等

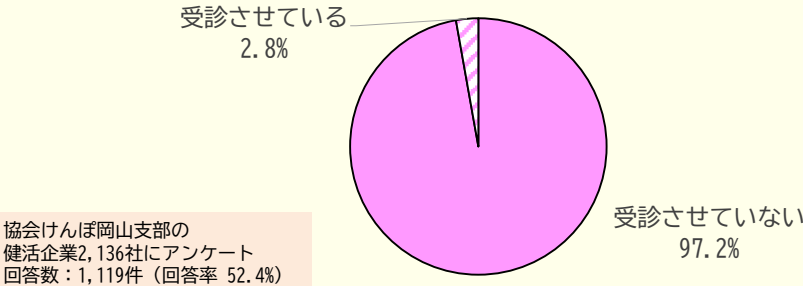
- ◆ 特別支援学校の児童生徒の未処置歯保有者率は年々減少傾向にあるが、令和5年度は中、高校部で増加している。
- ◆ 特別支援学校の児童生徒の歯周疾患有病率は小学部→中学部→高等部となるにしたがい高くなる。
- ◆ 歯肉に炎症所見を認めるものの割合は、県内の学校に比べて高い。

41

③職域における歯科保健

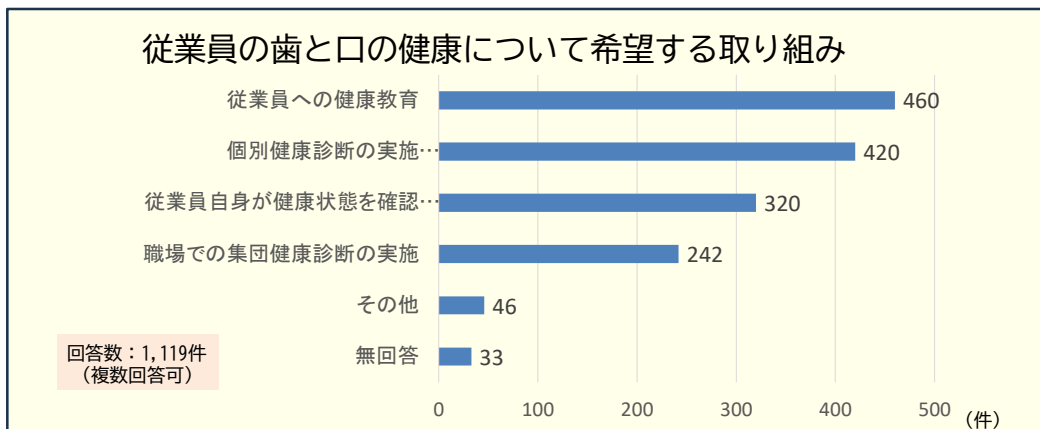
指標	策定時 R3(2021)	目標値 R17(2035)
成人期 定期的な歯科健診を受けている者の割合(再掲)	38.3%	50%以上

事業者が従業員に定期的な歯科健（検）診を受診させている割合



出典：令和4年度岡山県歯科保健実態調査

42



出典：令和4年度岡山県歯科保健実態調査

現 状 等

- ◆ 高校卒業後、働き世代において歯科健（検）診を受ける機会が少ない。
- ◆ 事業者の「従業員の歯と口の健康について希望する取り組み」として最も多かったのは、従業員への健康教育である。

43

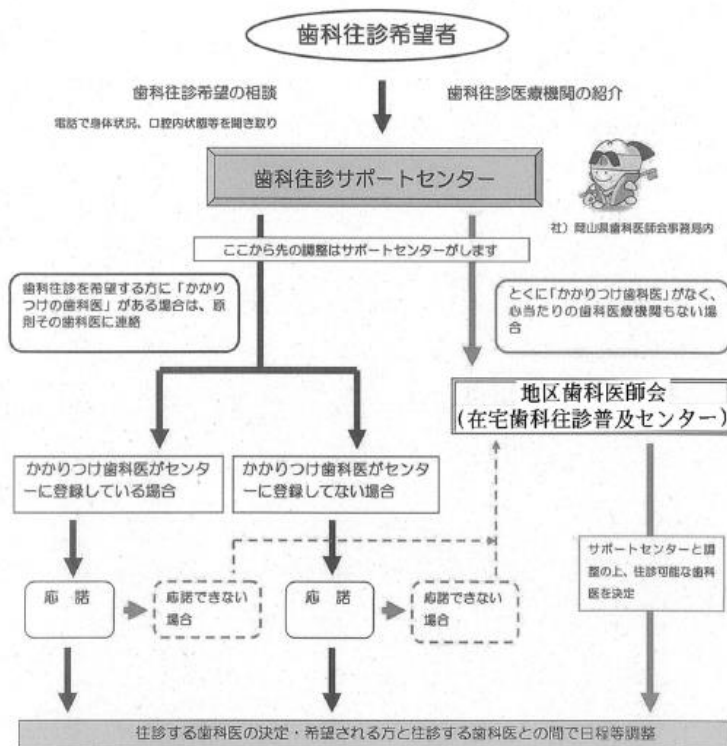
④要介護者等の歯科保健

第3次岡山県歯科保健推進計画の目標値

指標	直近で把握している値	目標値 R17(2035)
高齢期 健口体操を知っている者の割合（65歳以上）	54.0% ※	70.0%以上
歯科往診サポートセンターに登録する歯科診療所数	430 ※※	増加
高齢期 歯科往診サポートセンターの認知度（65歳以上）	9.8% ※	増加
要介護入所者施設の定期的な歯科健（検）診実施率	28.8% ※	増加

※令和4年度岡山県歯科保健実態調査
※※健康推進課

44



45

現 状 等

- ◆歯科往診サポートセンターに登録する歯科診療所数は534機関（令和7年1月14日現在）（前年度末430機関）
- ◆「歯科往診サポートセンター」の認知度は、高齢期で9.8%と低い。

46